ECHONET Lite Ver1.14_draft reviewsheet

ECHONET Consortium

								決議		
番号	部	章	節	項	指摘部位	コメント	備考	決定事項	規格書反映者	反映日
1	2	1	2	(1)	IPv6 の場合、ff02::1（オールノードマルチキャストアドレス）を用いるものとする。ただしいずれの場合も、・・・	IPv4とIPv6で段落が変わったため、左記の「いずれの場合」がどの場合を指すのかがわかりにくくなったと感じます。以下のように「ただし」以降も段落を分け、「いずれの場合」の前に「IPv4, IPv6の」を追加するとわかりやすくとなると思います。いかがでしょうか。 ―――――――――――――――― IPv6 の場合、ff02::1（オールノードマルチキャストアドレス）を用いるものとする。 ただし、IPv4, IPv6のいずれの場合も、・・・		ご指摘のとおり修正させて頂きます。	SAWG	2022.9.14
2	2	1	2	(1)	ECHONET Lite ノードは、ポート3610 にて、UDP ユニキャスト、および、マルチキャストのパケットを待ち受けるものとする。	左記の後に、(2)TCPに存在する記述と同様の記述 「また、ポート番号3610 にて、ブロードキャストのパケットを待ち受けし、メッセージを受信し処理することを推奨する。」 を追記したほうが良いと思いますが、いかがでしょうか？		ご指摘のとおり修正させて頂きます。	SAWG	2022.9.14
3	2	1	2	(2)	IPv4 の場合、送信先マルチキャストアドレス値は 224.0.23.0 とする	左記の後に、(1)UDPに存在する記述 「また、ネットワーク内に存在するECHONET Lite ノードを発見するために、ノード発見用メッセージを一斉同報送信する際にはIP ブロードキャストを併用しても良い。ただし、ブロードキャストを使用する際は、必ずマルチキャストと併用することとする。」 がないと、TCPを使用する場合はブロードキャストを使用してはいけないように読めると思います。いかがでしょうか？		ご指摘のとおり修正させて頂きます。	SAWG	2022.9.14
4	2	1	2	(1)	全体	「ノード発見用メッセージを一斉同報送信する際にはIP ブロードキャストを併用しても良い」と規定されているので、ノード発見用メッセージ以外のメッセージ（状変INF）などではブロードキャストは使用できないとの認識です。 仮にECHONET LiteノードがHEMSコントローラからブロードキャストのGetのみを受信した場合、「ブロードキャストを使用する際は、必ずマルチキャストと併用することとする。」と規定されているため、HEMSコントローラから同時発信されたマルチキャストのGetは当該ノードには届いていないことを意味します。これはこのECHONET Liteノードからの状変INF（マルチキャスト）はHEMSコントローラには届かない可能性が高いことを意味するとの認識です。 この場合のケア、例えば「HEMSコントローラがブロードキャスト・マルチキャストの併用で機器検索を行い、ブロードキャストのGetについてのみGet_Resを受信した場合、当該ノードからの状変INFはHEMSコントローラには届かない可能性が高いことを意味するため、定期的なGet要求を推奨する」などをシステム設計指針などのどこかに記載したほうが良いと思いますが、いかがでしょうか？		左記状変通知の受信に関する処理は、各社実装依存と考えております。	–	–
5		2	1	2	また、ネットワーク内に存在するECHONET Liteノードを発見するために、ノード発見用メッセージを一斉同報送信する際にはIPブロードキャストを併用しても良い。	ブロードキャストを利用してよいのは、ノード発見用の電文のみ（システム設計指針2.4末尾の自ノードインスタンスリストSのGet要求のみ）という理解でよろしいでしょうか？		左記理解で正しいです。システム設計指針に具体的に記載のとおりです。	–	–
6		2	1	2	ただし、ブロードキャストを使用する際は、必ずマルチキャストと併用することとする。	IPv4マルチキャストとブロードキャストを併用する機器から一斉同報送信にてGetを受信した場合、マルチキャスト、ブロードキャストのそれぞれの要求に応答する必要がありますか？		両方応答することを期待しています。	–	–
7		2	1	2	ただし、ブロードキャストを使用する際は、必ずマルチキャストと併用することとする。	上記が片方でよい場合であっても、送信側端末はマルチキャストとブロードキャストの要求それぞれに、異なるTIDを割り当てるという解釈で合っていますか？		ご認識の通りです。異なるTIDを割り当てることが望ましいですので、システム設計指針に追記させて頂きます。	SAWG	2022.9.14
8		2	1	2	ただし、ブロードキャストを使用する際は、必ずマルチキャストと併用することとする。	ブロードキャスト利用機器の接続性担保のため、ENL認証の申請内容に、ブロードキャストの対応有無が追加される、試験内容の追加される、などの予定はありますか？		現時点では未定ですが、今後検討させて頂きます。	–	–
9										
10										